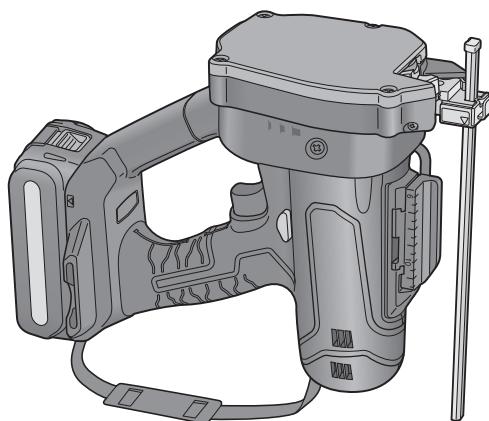


取扱説明書 充電全ネジカッター<プロ用>

品番 EZ45A8LJ2G
EZ45A8PN2G
EZ45A8LJ2F
EZ45A8X



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(2~6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意.....	2~6
各部のなまえ	7~9
付属品・別売品	9

充電する	10~11
準備~作業	12~19
作業終了	19
引掛けフックについて	20
替刃について	20
刃の交換	21~22

お手入れ・保管	23
---------------	----

電池パックについて	24
ご愛用者登録について	24
能力／仕様	25

故障かな?と思ったとき	26~27
保証とアフターサービス ...裏表紙	

ご使用前に

使いかた

お手入れ・保管

お知らせ

点検方法

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険
当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いはしないでください。

- 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるようにしない。
- 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。
- 当社製商品以外で使用しない。
- 分解、修理、改造をしない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
- 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
- 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
- 劣化した電池パックは使用しない。
- 水などの導電体で濡れるような使用はしない。
- 腐食性のガスのある場所で使用しない。

発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。

濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 電池パックは専用充電器以外では充電しない。
電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止



必ず守る

- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



警告

- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。

- 必ず電池パックを取りはずしてから準備／点検／刃の交換をする。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。
守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

- 作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。
守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
守らないとけがをするおそれがあります。

- 作業する場所は十分に明るくする。
暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。

- 加工するものはしっかり固定する。
不意に動き、けがをするおそれがあります。
安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。

- 定置で切断する材料は、安定性のよい台に置く。
台が不安定ですと、けがの原因になります。

- 使用中は、本体を確実に保持する。
確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。

- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。
お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。

- 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。
- 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっているか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。
そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

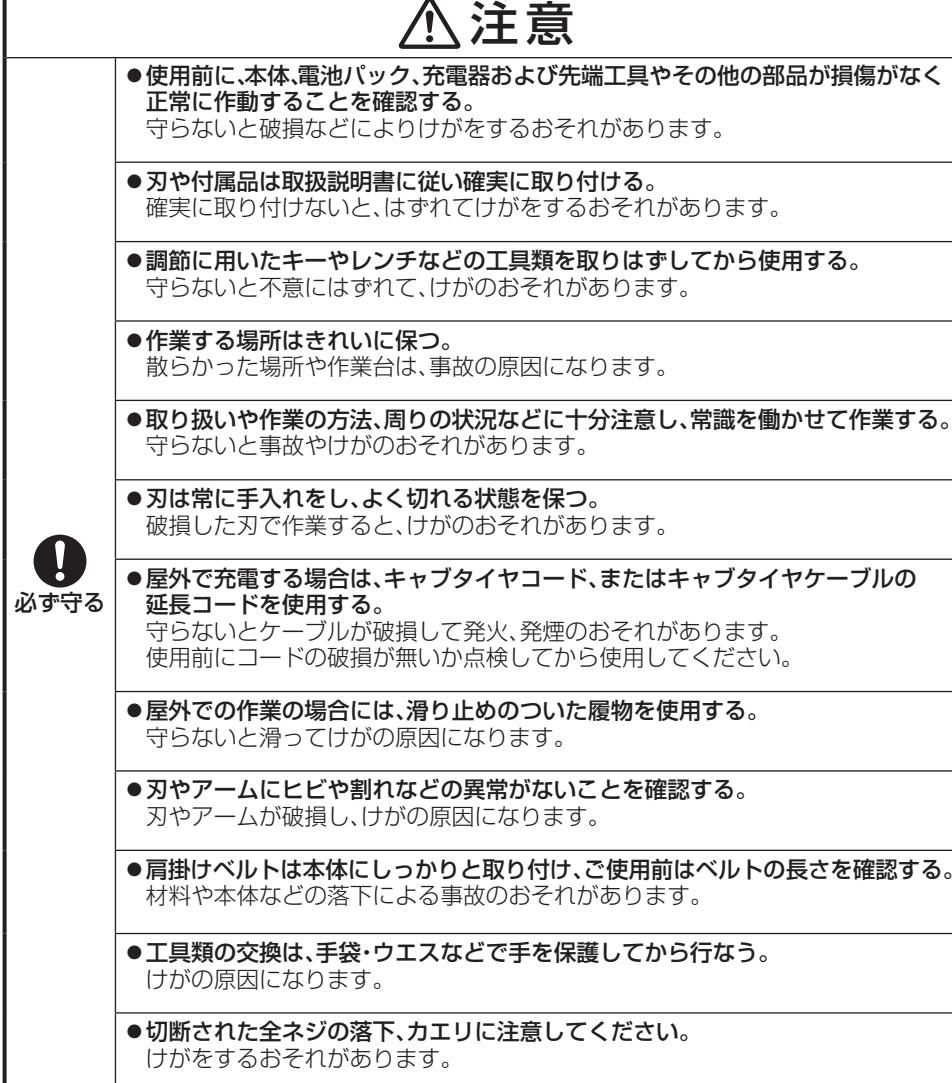
- 引掛けフックを使用するときは、本体が滑り落ちたり、風などで不安定になったりしないことを確認する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

 警告			
	<ul style="list-style-type: none"> ●高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。 本体が落下してけがをするおそれがあります。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。たとえば配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 ●電源コード・プラグを破損するようなことはしない。 (傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。 ●換気のよくない場所で充電しない。 ●使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。 ●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。 ●可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。 発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。 ●本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。 身体に害を及ぼすおそれがあります。 ●本体または充電器の風穴をふさがない。 やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。 ●本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てるな。 ●作業直後の工具類(刃など)、材料、切り粉などは非常に熱くなっていますので、触れない。 高温になっており、やけどをするおそれがあります。 ●「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させない。 理解せずに使用することは危険です。 ●引掛けフックを身体への吊下げ用として使用しない。 ベルトやズボンなど人体への吊下げは、けがのおそれがあります。 ●引掛けフックを使用するときは、勢いよく引掛けない。 フックが変形・破損するおそれがあります。 また、本体がうまく引掛からなかつたり滑り落ちるおそれがあります。 ●引掛けフックに曲がりやひびがないか確認し、異常がある場合は使用しない。 ●引掛けフックの根元固定部の止め輪・本体部に割れなどの異常がないか確認し、異常がある場合は使用しない。 異常がある場合、本体が落下してけがをするおそれがあります。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。 		<p>ぬれ手禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●充電工具は、下記のような取り扱いはしないでください。 ●雨ざらしや湿った場所で使用や放置をしない。 ●水に浸かるような使用をしない。 発煙、発火、破裂のおそれがあります。 		<p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●指定された用途以外に使用しない。 けがをするおそれがあります。 ●子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。 ●本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。 ●本体を、50°C以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。 ●モータがロックするような無理な使いかたはしない。 発煙、発火のおそれがあります。 安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。 ●無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。 ●疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。 ●子供など作業者以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。 けがのおそれがあります。 ●ベルトの状態を確認し、キズや破れ等がある場合は使用しない。 ●肩掛けベルトは、肩部にしっかりと掛ける。肩部以外の場所に引っ掛けない。 不意の落下による事故のおそれがあります。 ●本体を万力などで、保持した使いかたはしない。 不意の接触などで、けがの原因になります。 ●本体を作動させたまま、台や床などに放置しない。 事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用中は、巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。 ●髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。 守らないと回転物に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。 長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。 ●電池パックは黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。 守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。 ●本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。 守らないとやけどをするおそれがあります。 複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。 ●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください



各部のなまえ

本体 (付属品込み)

動作切替スイッチ
(切断・ロック / ライトオフ・逆転)

スイッチ



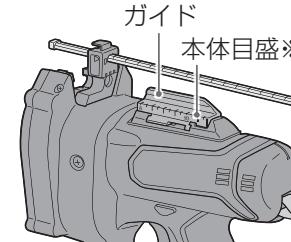
六角レンチ

肩掛けベルト
(別途取り付け)

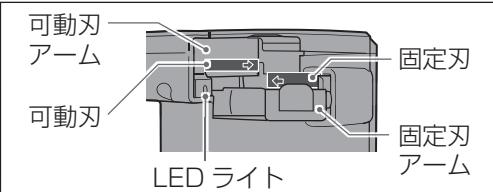
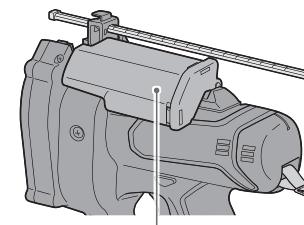
P13 参照

<左側面>

ガイド取り付け時



切りくずキャッチャー取り付け時



P14 参照

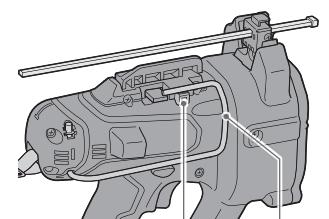
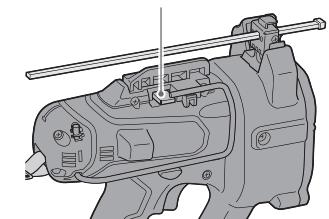
スケール長さ
調節ボタン

スケール
(別途取り付け)

スケール目盛※

<右側面>

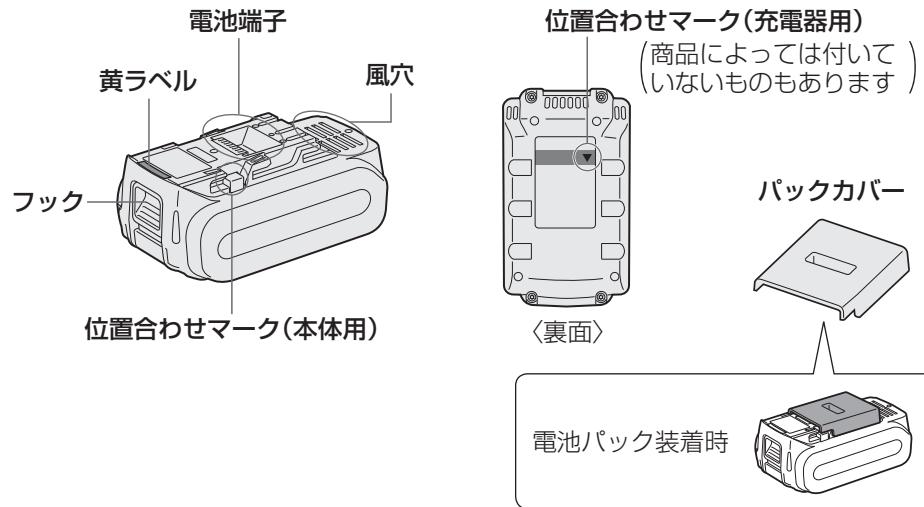
ロック解除レバー



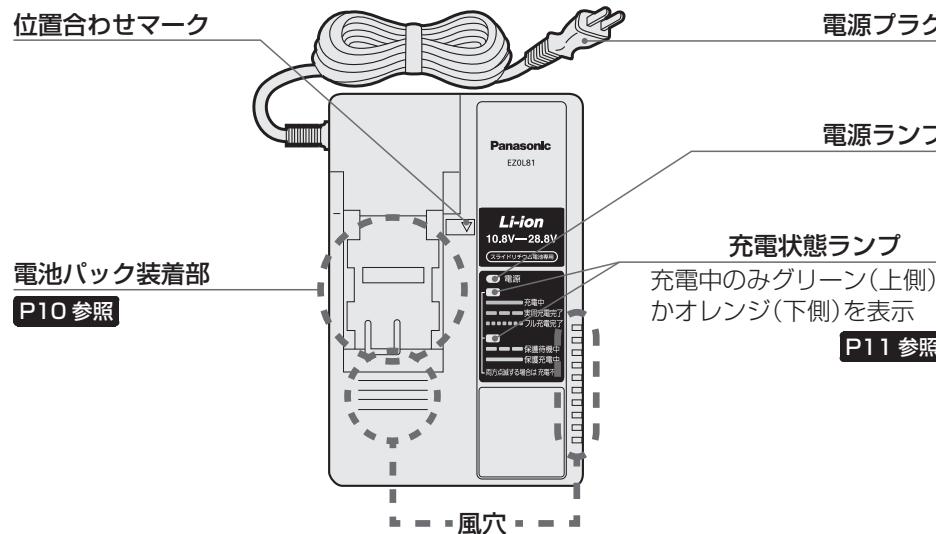
※目盛は目安としてご使用ください。

各部のなまえ(つづき)

電池パック (EZ45A8Xには付属していません)



充電器 (EZ45A8Xには付属していません) P10 参照



パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

Panasonic Store

付属品・別売品

商品	付属品				別売品の有無
	EZ45A8 LJ2G	EZ45A8 PN2G	EZ45A8 LJ2F	EZ45A8 X	
充電器	○	○	○	—	○ EZOL81
電池パック (リチウムイオン電池)	EZ9L54 ○ (2個入)	EZ9L53 ○ (2個入)	EZ9L48 ○ (2個入)	—	○ EZ9L54(18 V) EZ9L53(18 V) EZ9L51(18 V) EZ9L48(14.4 V) EZ9L47(14.4 V) EZ9L46(14.4 V) EZ9L45(14.4 V) EZ9L42(14.4 V)
パックカバー	○ (2個入)	○ (2個入)	○ (2個入)	—	○(※1) EZ9L80R2788
ケース	○	○	○	—	○ EZ9670
肩掛けベルト	○	○	○	○	○(※1) EZ7880L3418
切りくず キャッチャー	○	○	○	○	○(※1) EZ45A8K3497
ガイド	○	○	○	○	○(※1) EZ45A8K7727
全ネジカッター 純正刃(W3/8)	○ (2枚1組)	○ (2枚1組)	○ (2枚1組)	○ (2枚1組)	○ EZ9SBW31
全ネジカッター 純正刃(M10)	—	—	—	—	○(2枚1組) EZ9SBM10
スケール	○	○	○	○	○(※1) EZ4540H1527
六角レンチ	○	○	○	○	○(※1) EZ3542B7867

※1 補修用部品としてお買い求めいただけます。

充電する

スライド式リチウムイオン電池パックの充電ができます。

充電の前に

充電器は0~40 °Cの場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。

電池パックの温度が0 °C以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。[裏表紙参照](#)

お知らせ

- 電池パックの温度が-10 °C~0 °Cでも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は[P11参照](#)
- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も電源ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

1 コンセントに電源プラグを差し込む

電源ランプ▶点灯

2 電池パックを充電器に装着する

- ①位置合わせマークを合わせて差し込む
- ②底に当たったら矢印の方向に引く

充電状態ランプ▶充電状態を表示

[P11参照](#)

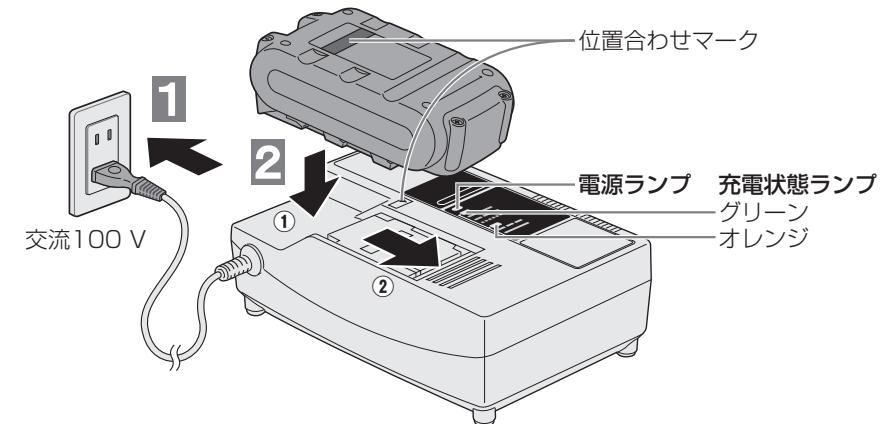
実用充電とフル充電について

実用充電:フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。

フル充電:実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

- 充電時間は[P25参照](#)

3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く



充電状態ランプの見かた [P8参照](#)

■ 点灯 ■■■ 暫い点滅 ■■■■■ 速い点滅 ■■■■■■ 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
■■■■■■	■■■■■■	充電中
■■■■■■	■■■■■■	実用充電完了
■■■■■■	■■■■■■	フル充電完了
■■■■■■	■■■■■■	保護待機中*
■■■■■■	■■■■■■	保護充電中*
■■■■■■	■■■■■■	充電不可

電池パックの温度が高いとき(60 °C以上)、または低いとき(-10 °C以下)
▶電池パック保護のため、充電は行いません。
▶温度が高いとき：電池パックを冷却後、充電します。
▶温度が低いとき：電池パックの温度が上がった後に、充電します。
(充電器が0~40 °Cの場所に設置されていることを確認してください)

電池パックの温度が低いとき(-10~0 °C)
▶電流を下げて電池パックにやさしく充電します。(0 °C以下の電池パックを充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)

電池パックの故障
▶別の電池パックに交換してください。

※電池パックの温度が-10 °C~0 °Cでも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。

準備～作業

準備中のご注意

！警告

- 肩掛けベルトは本体にしっかりと取り付け、ご使用前はベルトの長さを確認してください。
- ベルトの状態を確認し、キズや破れ等がある場合は使用しないでください。取り付けが不完全なままで使用すると本体が落下してけがのおそれがあります。
- 肩掛けベルトは、肩部にしっかりと掛けしてください。肩部以外の場所に引っ掛けないでください。
不意の落下による事故のおそれがあります。

作業中のご注意

！警告

- 使用中は刃先や可動部に体または体の一部を近付けないでください。
はさまれたり切断片があたってけがのおそれがあります。
- スケール長さ調整後は、必ずスケールをロックした状態でご使用ください。
ロックされていないままで使用するとスケールが落下し、事故のおそれがあります。
- スケールをつかんで本体を持ち上げないでください。
スケールの破損や本体の落下による事故のおそれがあります。

作業中のご注意

！注意

- 動作切替スイッチを中央にしても完全なロック状態ではありません。刃を取り付けた状態のときは十分に注意してください。
けがのおそれがあります。
- 切断された全ネジの落下に注意してください。
事故やけがのおそれがあります。
- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。
熱風によるやけどのおそれがあります。
- 本体が熱くなったら作業を中断して本体の温度が下がってからお使いください。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。風穴をふさいで使用すると、本体機能を損ない故障の原因となります。

お知らせ機能について

電圧低下お知らせランプ

- 電池残量が少なくなる、電池電圧が低下すると過放電防止機能がはたらき、動作が停止します。
また、電圧低下お知らせランプが点滅します。(10秒程度)



すぐに電池パックを充電してください。

高温お知らせランプ

- 電池パックが高温になると保護機能がはたらき、動作が停止します。
また、高温お知らせランプが点滅します。

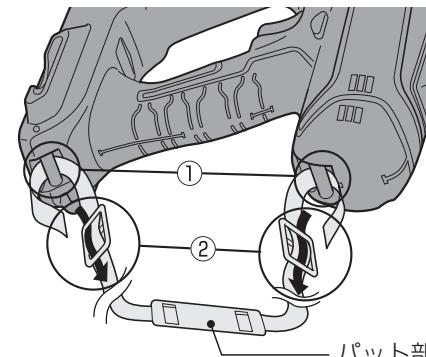


作業を中断し、約30分以上放熱させ、高温お知らせランプが消灯してから使用してください。

保護機能がくり返しあらくような作業は行なわないでください。

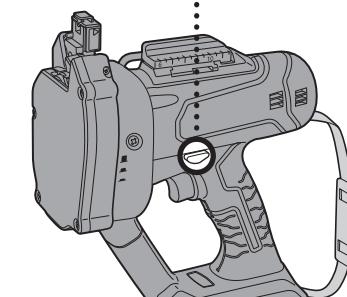
1 肩掛けベルトを取り付ける

- ①ベルトをベルト取付部に通す
- ②ベルト長さ調節部に通し、調節する



- 肩掛けベルトの長さは個人に合わせて調節できます。
- 肩掛けベルトのパット部を肩に当たる部分に合わせてください。
- 肩掛けベルトを引っ張り、本体にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

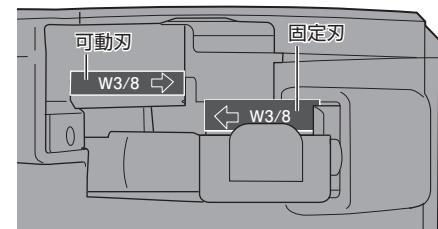
2 動作切替スイッチを中央で止め、ロック/ライトオフの位置にする



この商品はW3/8全ネジ(軟鋼・ステンレス)、M10全ネジ(軟鋼のみ)の切断を対象にしています。

※M10ステンレス製全ネジは切断しないでください。本体、刃が破損するおそれがあります。

3 刃を確認し、ボルトを増し締めする

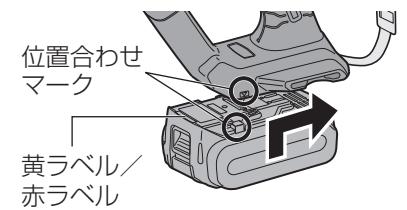


- 切断する全ネジのサイズに適合する刃が本体に確実に取り付けられていることを必ず確認してください。(刃の刻印を参照)
- 替刃は当社純正刃をご使用ください。
- 全ネジのサイズと刃のサイズが適合していない場合、または刃部に欠けや変形がある場合は刃を交換してください。P21～22参照

●刃を固定しているボルトは使用しているうちに緩んできます。使用前にボルトを増し締めしてください。P22参照

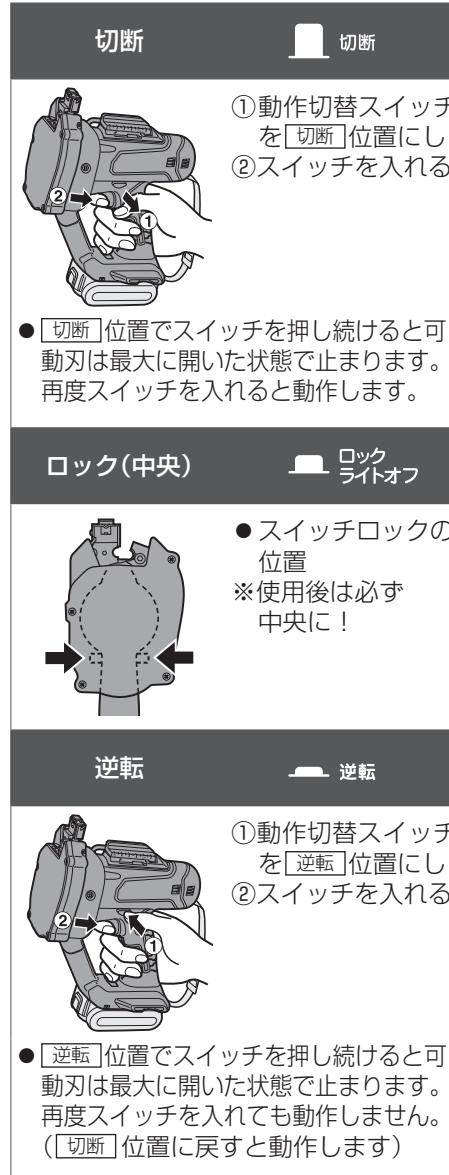
4 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

- 黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。



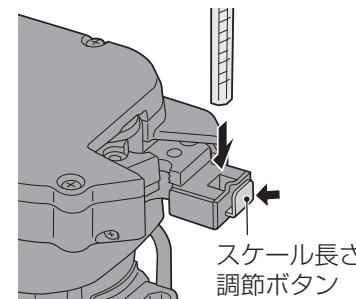
準備～作業(つづき)

5 本体の動作を確認する



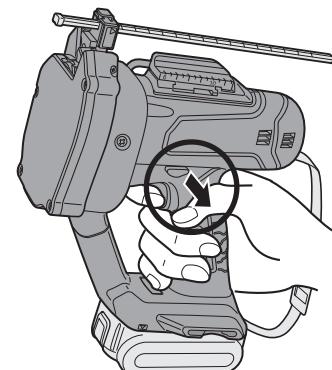
リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0～40℃です。
寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

6 スケールを取り付ける



- スケール長さ調節ボタンを押しながらスケールを差し込んでください。
- スケール長さ調節ボタンをはなすとスケールがロックされます。
- スケールを軽く引っ張り、ロックされていることを確認してください。

7 動作切替スイッチを[切斷]位置にする



お知らせ

目盛りを利用してことで、全ネジの長さ測定やマーキングの手順が省略できます。作業に合わせて、スケール目盛りと本体目盛りをご利用ください。
※目盛りは目安としてご使用ください。計測器として長さを保証するものではありません。

スケール目盛り[約2～20 cm(0.5 cm刻み)]

合わせ位置(※1)でのスケール目盛りの数値が、A部分の全ネジの長さになります。

<使いかた>

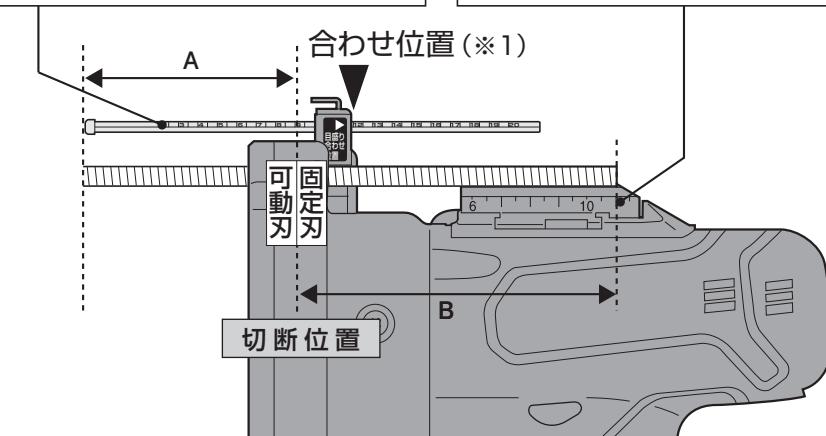
- ①切断したい長さの目盛りを、合わせ位置(※1)に合わせる
- ②全ネジとスケールの先端の位置を揃えて、切断する
→目盛りと同じ長さの全ネジが可動刃側に切り落とされます。

本体目盛り[約6～11 cm(0.5 cm刻み)]

本体目盛りの数値が、B部分の全ネジの長さになります。(下図は目盛り「11」の例)

<使いかた>

- ①全ネジの先端を、切断したい長さの目盛りに合わせて切断する
→目盛りと同じ長さの全ネジが固定刃側に切り落とされます。



切断中のご注意

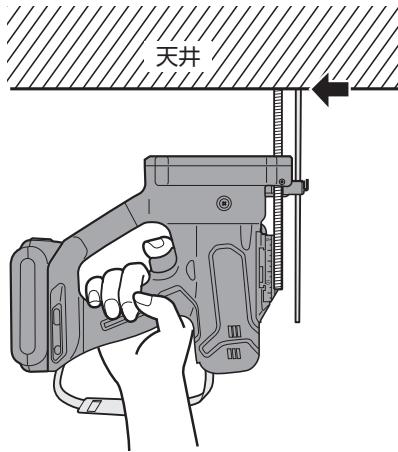
- 固定刃のみぞが全ネジのネジ山に合わない状態では切断しないでください。(刃の変形、欠けが生じやすくなります)
- 本体が熱くなったら作業を中断し、本体の温度が下がってからご使用ください。
- モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。
- 本体の異常に気付いたときは点検修理に出してください。

準備～作業(つづき)

作業A 上向きで作業する

■スケールの先端を天井に当てて切断 (スケールの目盛りは天井から全ネジの (切削位置までの長さの目安となります)

- 本体前面を天井面に当てて作業するとき、本体前面が汚れていると天井面を汚すおそれがあります。
- スケールを天井に強く当てすぎるとスケールの変形・破損の原因となります。



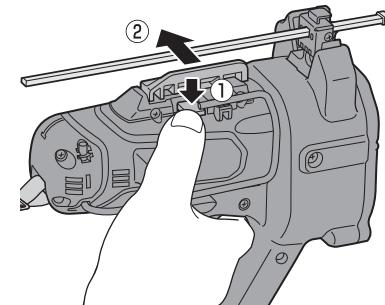
■本体前面を天井に当てて切りくず キャッチャーを使って切削

切りくずキャッチャーで収納できる
くずの長さは、30 mmの全ネジ6本
までです*

*切りくずが30 mm以上となる場合は
使用しないでください。

1 切りくずキャッチャーを取り付ける

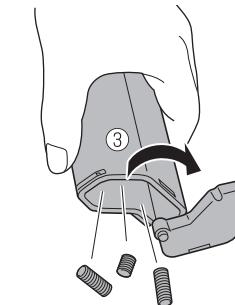
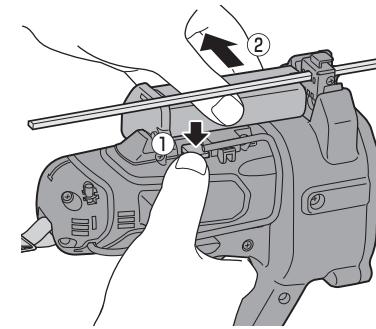
- ① 本体上部にあるロック解除レバーを押しながら
- ② 付属のガイドをはずす
- ③ 切りくずキャッチャーをガイドが固定されていたりリブにそってカチッと音がするまで押し込んで取り付ける



- ガイドに戻すときは、上記同様に切りくずキャッチャーをはずして、ガイドを取り付けてください。

2 切りくずを捨てる

- ① 本体上部にあるロック解除レバーを押しながら
- ② 切りくずキャッチャーをはずす
- ③ 切りくずキャッチャーのフタを回して空けて切りくずを捨てる



■上向き作業切りくずキャッチャー使用時のご注意

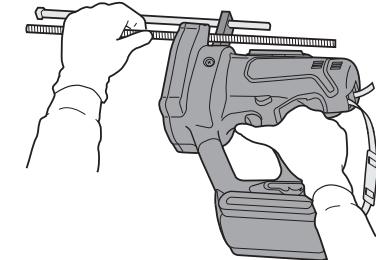
- 切りくずキャッチャーのフタが確実に閉まっていることを確認してください。
- 切りくずキャッチャー内に切りくずが入っている状態で、本体を下向きにすると収納していた切りくずが落下しますので、下向きにしないでください。
- スケールを取り付けた状態では、切りくずキャッチャーのフタが完全に開きませんので、切りくずキャッチャーを本体からはずして切りくずを捨ててください。

作業B 床面において作業する

■スケールの先端と全ネジの先端を合わせて切削

スケールの目盛りは可動刃側の全ネジの先端から切削位置までの長さの目安となります

- 床面に水や可燃物等がないことを確認してください。
- 本体を水平な床面に置いて作業してください。



作業C 胸元で切削する

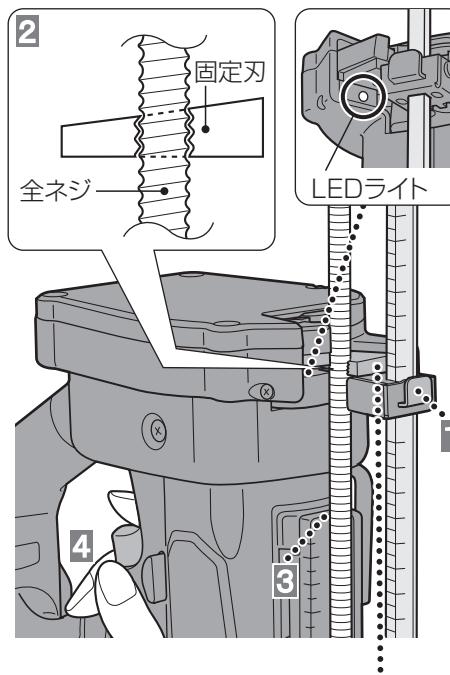
■本体の目盛りに全ネジの先端を合わせて切削

本体の目盛りは固定刃側の全ネジの先端から切削位置までの長さの目安となります



準備～作業(つづき)

切断のしかた(作業A|B|C|P16~17参照 共通)



—切断面のバリ発生についてのご注意—

- 可動刃側はバリがほとんど発生しません。
構造上、固定刃側はバリが発生します。



- 固定刃側
●切り口の後処理が必要
- 全ねじと刃の合わせ位置や刃の状態が悪い場合、また全ねじの材質、ピッチのばらつきがある場合は、バリが発生します。
- バリでナットが入らない場合は、ブライヤ等で全ねじを固定してください。ニッパー・ヤスリまたは、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使ってバリを取ってください。

- 1 スケール長さ調節ボタンを押してスケールの長さを調節する
※スケールを使わないときは、2へ。

- 2 全ねじのネジ山を固定刃のみぞに合わせる

- 3 ガイド・切りくずキャッチャーに全ねじをそわせる

- 4 ●スイッチを入れ、全ねじを切断する
●切断後もスイッチを押し続け、可動アームが止まつたらスイッチをはなす

<オートリセット機構>

「**切断**」位置でスイッチを押し続けると可動アームが最大に開いた状態で自動的に止まり、次の切断作業にすぐに取りかかることができます。

- スイッチを入れるとLEDライトが自動的に点灯します。(約3分間)

お知らせ

!! 注意 !!

- LEDライトの先を直接目に当てないでください。
LEDライトの先が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

■LEDライト

- 固定刃のみぞと全ねじのネジ山を照らします。
- スイッチを入れたまま放置すると約3分後に点滅(5回)した後、自動的に消灯します。
- 微小電流で点灯するため本体作業性能にはほとんど影響ありません。
- ライトを消すときは、動作切替スイッチをロック/ライトオフ(中央)位置に戻してください。

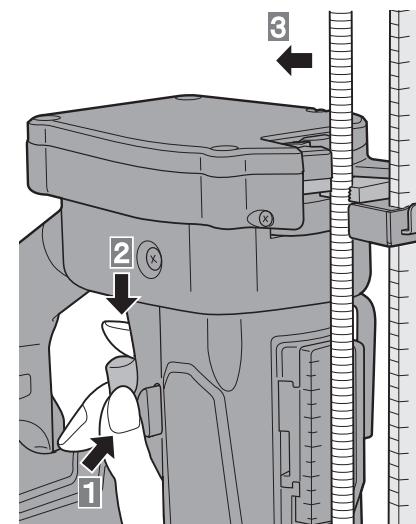
■本体保護クラッチ

以下の作業のときは、本体を保護するためクラッチが働き切断できません。

- 切断能力を超える全ねじの切断
- 鉄筋など全ねじ以外の部材の切断
- [逆転]位置での全ねじの切断

切断途中での全ねじのはずしかた

切断位置合わせ不良など、解除が必要なとき。



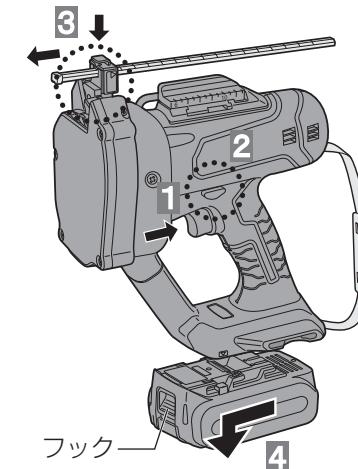
- 1 動作切替スイッチを**逆転**位置にする

- 2 スイッチを押し続け、可動アームが止まつたらスイッチをはなす

※再度スイッチを入れても動作しません。
(「**切断**」位置に戻すと動作します)

- 3 全ねじを取りはずす

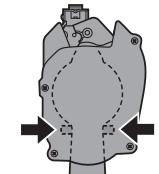
作業終了



- 1 動作切替スイッチを**切断**位置にしてスイッチを入れ、刃を閉じる
●閉じたときにスイッチをはなす。



- 2 動作切替スイッチを**ロック/ライトオフ**位置にする



- 3 スケールをはずす
●スケール長さ調節ボタンを押しながらスケールを取りはずしてください。

- 4 フックを引きながら電池パックを本体前方にスライドさせて電池パックをはずす

●電池パックを本体から取りはずしたら電池端子部分への塵・埃の付着や短絡防止のため、すみやかにパックカバーを取り付けてください。



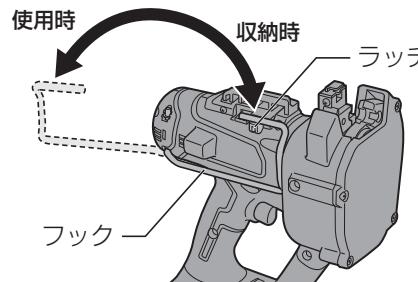
引掛けフックについて

警告

- 引掛けフックを身体への吊下げ用として使用しないでください。
- 引掛けフックを使用するときは、本体が滑り落ちたり、風などで不安定になったりしないことを確認してください。ベルトやズボンなど人体への吊下げは、けがのおそれがあります。
- 勢いよく引掛けないでください。
 - ・フックが変形・破損するおそれがあります。
 - ・本体がうまく引掛からなかったり滑り落ちるおそれがあります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。本体が落下してけがをするおそれがあります。
- 引掛けフックに曲がりやひびがないか確認し、異常がある場合は使用しないでください。
- 引掛けフックの根元固定部の止め輪・本体部に割れなどの異常がないか確認し、異常がある場合は使用しないでください。
異常がある場合、本体が落下してけがをするおそれがあります。

作業中に本体を一時的に引掛けておくのに引掛けフックを利用されると便利です。

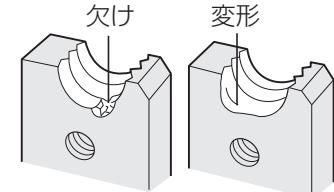
- 引掛けフックを使うときは、ラッチ部からフックを引き出してお使いください。
- 引掛けフックを使用しないときは、ラッチ部に収納してください。



替刃について

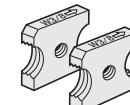
- 替刃は当社純正刃をご使用ください。

交換の目安

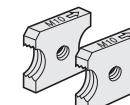


- 刃部に欠けや変形が生じたら可動刃と固定刃を同時に交換する
- 切断部にバリが発生しやすくなります。

全ネジカッター
純正刃
W3/8(2枚1組)
EZ9SBW31



全ネジカッター
純正刃
M10(2枚1組)
EZ9SBM10



刃の交換(W3/8全ネジ用替刃の場合)

別売のM10全ネジ用替刃も同様の手順で交換してください。

警告

- 替刃の取り付け・取りはずしは、必ず動作切替スイッチをロック/ライトオフの位置にし、電池パックを本体から抜いてください。
急に動き出し事故のおそれがあります。

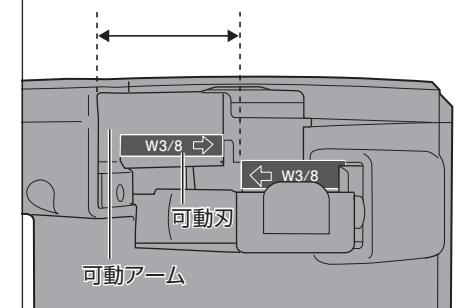
注意

- 刃は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でないとはずれたりし、けがのおそれがあります。

刃の取りはずしかた

1 スイッチを入れ、可動刃の位置合わせをする

- 可動アームを動かして可動刃を下図(←→の範囲)に合わせる

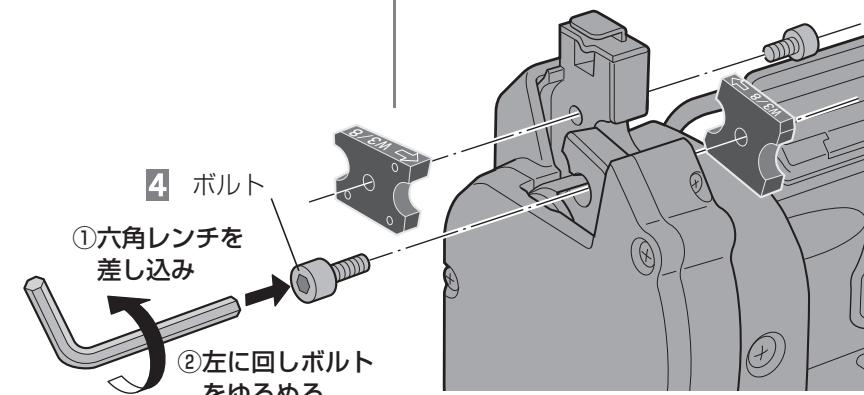


2 動作切替スイッチをロック/ライトオフ位置にし、電池パックをはずす

3 スケールをはずす P19参照

4 可動刃を固定しているボルトを付属の六角レンチ P7参照で取りはずし、刃をはずす

5 固定刃も同様にはずす

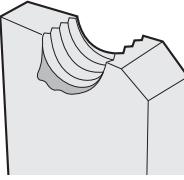


刃の交換(W3/8全ネジ用替刃の場合)(つづき)

刃の取り付けかた

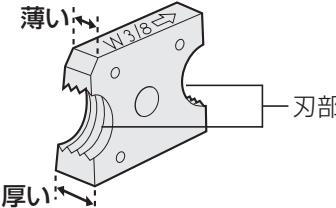
お願い

刃部にカエリが出ているときはヤスリなどでカエリを削り落としてから取り付けてください。



お知らせ

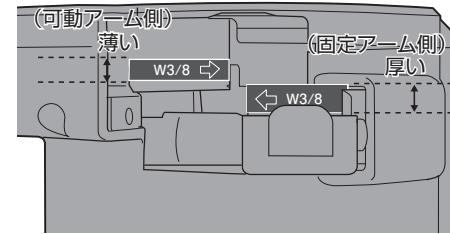
刃には2つの刃部と幅の異なる2つの刻印面があります。



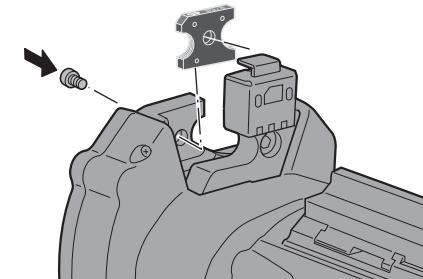
可動アームの刃と固定アームの刃を入れ替えることで1組の刃を2回使用することができます。

	可動アーム側 (薄い刻印面が上)	固定アーム側 (厚い刻印面が上)
1回目	刃A 薄い W3/8	刃B 厚い W3/8
2回目	刃B 薄い W3/8	刃A 厚い W3/8

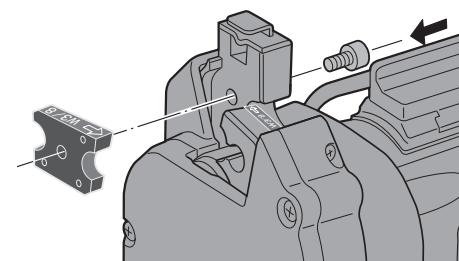
■刃の取り付け完成図



- 1 刃の刻印【W3/8➡】の向きと凹部の位置を確認し、可動刃をボルトで確実に取り付ける**



- 2 固定刃も同様に、刃を取り付ける**



- 3 スケールを取り付ける**
P14参照

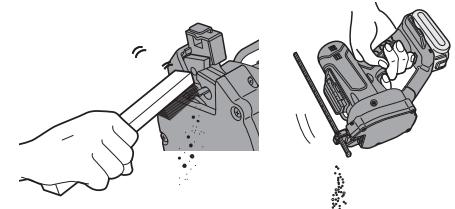
- 4 電池パックを取り付ける**
P13参照

お手入れ・保管

お手入れ

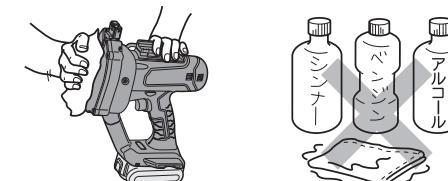
ゴミを取り除く

刃に付着した切粉や可動部に入ったゴミを取り除いてください。



やわらかい布でふく

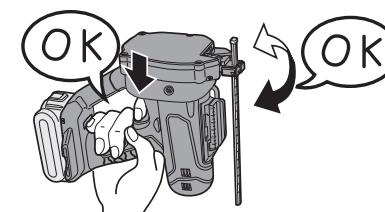
ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。(変色・変形・割れの原因)



パネルが汚れていると汚れが天井面につくおそれがあります。

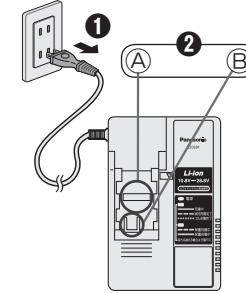
定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが破損していないか定期的に点検してください。



充電器の電池パック装着部のゴミを取り除く

- ①電源プラグをコンセントから抜く



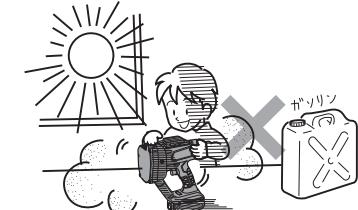
- ②電池パック装着部のゴミを取り除く

- カバーを押さえて端子ⒶとⒷを露出させ、ゴミを取り除く。
Ⓐ:ブラシなどで端子に無理な力がかかるないように取り除く。
Ⓑ:布などで取り除く。

保管

以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



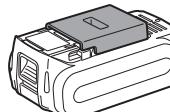
電池パックについて／ご愛用者登録について

危険

- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、充電せずに保管してください。
- 使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためパックカバーを取り付けてください。
- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。



電池パックを使用しないときは

保管の前に	充電せずに保管
再使用の前に	フル充電

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、便利なサービスを利用できます
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



ご愛用者登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の6桁の数字を入力してください。

432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。
※他の製品をご登録の場合、WEBサイトをご参照ください。

能力／仕様

能力 1回のフル充電による作業本数(周囲温度20 °C)

電池パック	EZ9L54	EZ9L53	EZ9L48
W3/8軟鋼製全ネジ(SS41)	約780本	約470本	約690本
W3/8ステンレス製全ネジ(SUS304)	約590本	約350本	約520本
M10軟鋼製全ネジ(SS41)	約590本	約350本	約520本

●数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。

本体

モータ電圧	DC18 V	DC14.4 V
質量(重量)	EZ9L54装着時:約3.3 kg EZ9L53装着時:約3.1 kg	EZ9L48装着時:約3.2 kg
大きさ (概略寸法)	EZ9L54装着時 全長207×全高294×全幅102(mm) EZ9L53装着時 全長207×全高278×全幅102(mm) 電池パック最大幅75(mm)	EZ9L48装着時 全長207×全高286×全幅102(mm)
切断能力	W3/8 全ネジ(軟鋼・ステンレス) M10全ネジ(軟鋼のみ) ※別売純正刃使用にて可 P9・20参照	
最小切断長さ	20 mm	

※ M10ステンレス製全ネジは切断しないでください。本体・刃が破損するおそれがあります。

充電器(EZOL81)

電 源	AC100 V 50/60 Hz	消費電力	約198 W	質量(重量)	約900 g
-----	------------------	------	--------	--------	--------

充電可能な電池パック	電池パックの種類				リチウムイオン電池				
	電池電圧	28.8 V	EZ9L84	EZ9L82	EZ9L81	電池電圧	21.6 V	EZ9L62	EZ9L61
充電時間	実用 フル		約45分 約65分		約30分 約45分		約27分 約50分		
充電時間	実用 フル			約42分 約55分			約22分 約41分		
充電時間	実用 フル	EZ9L54	EZ9L53		EZ9L51	EZ9L50			
充電時間	実用 フル		約40分 約60分	約40分 約55分	約48分 約60分	約37分 約50分			
充電時間	実用 フル	EZ9L48	EZ9L47	EZ9L46	EZ9L45	EZ9L44	EZ9L42	EZ9L41	
充電時間	実用 フル	約40分 約60分	約30分 約35分	約25分 約41分	約38分 約54分	約28分 約45分	約25分 約30分	約19分 約38分	

- 充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
- 表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。
- 表中のEZ9L81・EZ9L61・EZ9L41は、充電器EZOL80でも充電できます。

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	処 置	
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。	
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	
	充電中に保護待機中の状態になる。 [*] (オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックの温度が60 °C以上になっている。 電池パックの温度が−10 °C以下になっている。 [*]	
作業時	動かない。または動いてもすぐ止まる。 (高温/電圧低下お知らせランプが点滅)	電池パックが高温になり保護機能が働いている。 電池パックの温度が−10 °C以下になっている。 電池パックを充電していない。 電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。 本体や電池に高い負荷がかかっている。 動作切替スイッチが【逆転】位置にある。	作業を中断して十分放熱してください。 電池パックを10 °C以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
	高温/電圧低下お知らせランプが同時に点滅する。	充電をしてください。	
	充電しても切断本数が少ない。	ゴミを取り除いてください。 負荷を取り除いてください。 動作切替スイッチを【切断】位置にしてスイッチを入れてください。	
		確実に奥まで差し込んでください。	
		新しい刃と交換してください。 P20~22参照	
		新しい電池パックをお買い求めください。 P9参照	
		電池パックを10 °C以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。	
		充電を行なってください。 P24参照	
その他	●電源プラグをコンセントに差し込んでも電源ランプが点灯しない。 ●充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ●充電開始直後に充電状態ランプが点灯・点滅しない。 ●「保護待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ●「充電中」(グリーン:点灯)後、2時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。		

*電池パックの温度が−10 °C～0 °Cでも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は **P11参照**

左記の点検をしてもなお異常がある

- ただちに使用中止
- 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

愛情点検



長年ご使用の充電全ネジカッターの点検を

- こんな症状はありませんか?
- ・本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。
 - ・充電器のコードが損傷している。
 - ・動作中に異常な音がする。

お願い

故障や事故防止のために使用を中止し、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずして必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

修理を依頼されるときは

26~27ページの表をご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

●製品名 充電全ネジカッター

●品番 EZ45A8(LJ2G-PN2G-LJ2F-X)

●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間:お買い上げ日から本体・充電器6か月間(ただし、刃・電池パック・ケース・その他付属品は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

[技術料] 診断・修理・調整・点検などの費用 [部品代] 部品および補助材料代 [出張料] 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 [5年]

当社は、この充電全ネジカッターの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/>

? 使い方・お手入れなどのご相談 【受付時間】 365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

 フリーダイヤル パナは ナットク
0120-878-709

■ 左記電話番号をご利用
いただけない場合
06-6906-1109

■ FAX フリーダイヤル
0120-872-460

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「×」ボタンを押してから操作してください。)

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open:9:00~17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ライフソリューションズ 修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

? 修理に関するご相談

【受付時間】 月~土/9:00~19:00

日・祝日・年末年始/9:00~18:00

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

 フリーダイヤル パナニ イコ
0120-872-150

■ 左記電話番号をご利用
いただけない場合
06-6906-1090

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2019